

1 部の使命

私たち産業環境部は、産業振興や環境保全に係る市民一人一人が希求する暮らしやすい環境づくりのため、持続可能な地方創生につながる産業・環境活動を部員の能力最大化と市民との協働により継続的な挑戦で実現します。

2 部の経営方針

【市民】

- ・丁寧なニーズ把握と対応による信頼関係の構築に努める。
- ・各種媒体を活用し、タイムリーで分かりやすい情報発信を心掛ける。

【政策】

- ・国・県の施策や社会情勢、市民ニーズ、データ、費用対効果を踏まえた市独自施策の必要性や、既存施策の見直し・スクラップを意識する。
- ・一般職員が日々の業務で感じた問題意識を吸い上げ、ボトムアップ型の施策立案につなげるための打合せを実施する。

【協働】

- ・関係機関や団体等との情報共有を密にするとともに、連携を意識する。

【人材】

- ・一般職員に対して研修や勉強会への積極的な参加を促し、自己研鑽に取り組む職場環境づくりに努める。また、能力開発に時間を割くことができない職員にも配慮し、部内の重要施策等に関する情報をプッシュ型で提供する。

【管理】

- ・少なくとも2か月に一度、部内管理職で重要施策等の進捗について打合せを行い、計画通りに進まなかった事案等について、その要因や改善の余地について十分議論する。

【組織】

- ・全ての職員が組織の一員であることを自覚し、重要度に応じた「報連相」が自ずと徹底されるような、風通しの良い職場環境作りに努める。

3 部の経営体制

【所管課及び人員】

所管課：農林振興課、林業活性化センター、農地政策課、環境推進課、商工観光課

人員：45人（うち、育休1人、再任用3人、会計年度任用職員16人、CIR1人）

※おおや堆肥センター、あけのべ自然学校を含む

【予算】

1,030,338千円（令和6年度予算の繰越分は含まない）※財務会計システムによる集計

4 重要経営課題

【農業】人と環境にやさしい農業の推進

【農業】維持すべき農地とその担い手の確保（地域計画の実現）

【林業】林業事業者の育成等を通じた適切な森林整備の推進

【環境】有害鳥獣被害の軽減

【環境】2050ゼロカーボンシティの実現

【商工】新たな産業の育成と既存事業者の発展

【観光】関係者との協働等による観光施設の維持、利活用

5 部の重要政策の取組内容

【農業】維持すべき農地とその担い手の確保（地域計画の実現）
 多くの地区において策定が進む地域計画の実現に資するよう、以下の取組等を推進。

- ・認定農業者等の担い手と離農・規模縮小意向の農家のマッチング
- ・現状維持以上の営農意向を有する農業者への機械・設備の導入支援
- ・営農継続等に必要な農地・農業用施設の保全管理・整備
- ・多面的機能支払交付金の取組面積減少への対応検討

【商工】養父市の「食」を発信するイベント開催事業
 養父市の豊かな「食」を広く紹介するイベントを各種団体や市内事業者等とともに企画・開催し、市内事業者の売上増、顧客・販路の拡大、ふるさと納税の増加、交流人口の増加等につなげる。

6 部の経営目標

【農業】有機JAS認証農場面積	:	22.5ha
【農業】新規就農者・就農研修生の増加	:	4人/年
【農業】担い手への農地利用集積面積	:	20ha/年（農地利用最適化指針）
【林業】人工林の間伐実施面積	:	720ha/年（養父市まちづくり計画）
【林業】森林管理意向調査	:	1地区
【環境】猟友会養父支部の会員数	:	90人（環境基本計画）
【環境】鳥獣被害額（の減）	:	20,454千円/年（鳥獣被害防止計画）
【観光】観光入込客数（の増）	:	2,000千人/年（養父市まちづくり計画）
【商工】スタートアップ等と市内事業者の連携件数	:	5件/年

7 前年度の経営目標及び実績

○【農業】有機JAS認証農場面積	:	22.0ha//21.9ha
○【農業】新規就農者・就農研修生の増加	:	3人/年//3人/年
○【農業】担い手への農地利用集積面積	:	20.0ha/年//20.6ha/年
△【農業】地域計画策定に向けた話合い	:	全地域で実施//92地区で策定
△【林業】人工林の間伐実施面積	:	535ha/年//269ha/年
△【林業】森林管理意向調査	:	1地区//0地区
○【環境】猟友会養父支部の会員数	:	90人//91人
—【環境】鳥獣被害額（の減）	:	22,645千円/年//実績取りまとめ中 ^(5月下旬確定見込)
—【観光】観光入込客数（の増）	:	1,619千人/年//実績取りまとめ中 ^(8月中旬確定見込)
○【商工】スタートアップ等と市内事業者の連携件数	:	5件/年//5件/年

【評価等】

令和6年度経営計画書に記載した経営目標10項目のうち、達成できたのは5項目、2項目は実績数値をとりまとめ中。未達成だった項目に関する所見は以下のとおり。

・地域計画策定に向けた話合い

農会長会議等の機会を捉え、全地区に対し地域計画の概要や法律上の位置付け等について説明を行い、地区内での話合いを依頼したものの、農地を多く抱えていない地区を中心に機運が高まらず、全地区において話合いを開始するには至らなかった。一方、限られたマンパワーの中で、各地区関係者の尽力等もあり、話合いや意向調査、目標地図の作成等を経て、全地区の7割近くに当たる92地区において策定を了することができた。

引き続き、未策定地区のうち一定程度農地が存する地区を中心に策定を急ぐ方針。

・人工林の間伐実施面積

造林事業補助金が付きづらく、大半を占める森林組合実施分の事業量が低調となったことによるものであり、他動的な要因により目標の達成・未達成が大きく左右されるのは適切ではないため、目標のあり方を検討する。

引き続き、森林組合の持つ能力を最大限活用し、市内で継続的・効果的に間伐を推進するための方策を森林組合と議論するとともに、自伐型林業グループや地域おこし協力隊など、新たな担い手の確保・育成に努める。

・森林管理意向調査

既に市が経営管理権を取得した箇所の施業に当初想定していた以上の予算・期間を要することが判明したため、そちらに注力。新たな意向調査は令和7年度に実施する予定。